

"天気" 総目次 1954

第1巻 第1号

創刊のことば	1
気象を通じて美しい世界を作ろう	福島 要一 2
輻射線図	沢田 龍吉 4
凍霜害とその防ぎかた	日下部正雄 8
豪雨による被害について	荒井 康 12
夏季出現する東風について	荒川 秀俊 14
「増補華夷通商考」所載の気候	渡辺 次雄 19
すきまから吹き込む雪の結晶	伊東 壘自 22
上層の風 (I) (ビキニの風)	大井 正一 26
定点問題の経過	金水 和夫 32

第1巻 第2号

気象と農業技術雑感	坪井八十二 1
ベルギーの気象史	渡辺 和夫 5
富士山の高さについて	堀内 剛二 7
1954年8月中旬の静岡県	
局部的大雨	中山 章 9
富士の笠雲	大井 正一 12
太陽黒点の変動と世界の年平均気温	荒川 秀俊 14
雨滴による果樹園の土壌侵蝕	中原 孫吉 16
雨滴や雪片の連続観測	丸山 晴久 18 浜 昊 一
米国気象局の長期予報	須田 健 24
地震活動区域震度分割の問題	季 邦 善 29

第1巻 第3号

クラカトア噴火塵の移動	今井 一郎 1
上層の風 (II) (ビキニの風)	大井 正一 5
工場内の気象	久保 次郎 9
風語解析	土佐林義雄 15
伊勢小屋沢崩壊の総合的研究	読書中学校 理科研究班 22
そめいよしの開花日までの	
積算温度の一考察	篠原 久男 26
国際地球物理年	北岡 龍海 31
土壌水分観測	日下部正雄 32

第1巻 第4号

大気オゾンの話	山崎 正博 1
日本の測候史上における	
シーボルトの業績	永山 盛善 6
150年前の八月十五夜	千葉 徳爾 10
ヒマラヤ登山と気象	藤平 正男 11

狭い地域内の地中温度のちがひ	日下部正雄 13
成層圏の旅	福井 俊夫 15
サハリン島より	堀内 剛二 17
ビキニ環礁付近海域の調査について	杉浦 吉雄 19
今夏の異常気候と水爆の影響	増田 善信 25 藤田 敏夫

第1巻 第5号

ヨーロッパの気象台をめぐる	佐貫 亦男 1
台風飛行機観測	大塚 龍藏 7
風という字はなぜ虫を書くか	T W 生 9
微気象用熱電対について	荒井 哲男 10
火山塵による降水量の増加	磯野 謙治 14 駒 林 誠
天気と相場師	渡辺 和夫 16
雨量の最大値	矢島 幸雄 18
潮岬測候所だより	13
屋外労働に適する時間	日下部正雄 20
台風と港の防災	23
台風第5号中心レーダー写真	
(表紙関連)	今井 一郎 24
自然現象指示者としての蛙	大後 美保 28

第1巻 第6号

雷雲への招待	畠山 久尙 1
輻射線図の応用	関谷 博 4
ヨーロッパの気象台を巡って	佐貫 亦男 12
海鳴とその強度	小川 善明 16
P.T 偏差図と東北地方の	
長期予報について	相樂 正俊 22
台風15号の経過概況と洞爺丸遭難当時の	
函館付近の気象	佐々木良一 27

第1巻 第7号

気象災害の問題と方法	渡辺 次雄 1
今年の台風をめぐる	大野 義輝 7
IUGG その他に出席した	
山本義一博士からの便り	10
気候に及ぼす混濁度の影響について	飯田陸治郎 11
岩手県の稲作と気象	藏重 一彦 17
大森氏の気象記事	
(日本の気象学史断片)	遠藤 二郎 19
電力に必要な降水量の長期予報測	鈴木 栄一 20
本邦における気温極値の推定	河村 武 23 水越 允治
螟虫網内の日射量	坪井八十二 25
横から見た台風	里見 一男 26
今年今までにどの位雨が降ったか	
中国の大雨	S.M.氏訳 28